

令和7年12月 9日

厚沢部町議会議長 鈴木祥司様

産業厚生常任委員長 高田一弥

### 令和7年度 産業厚生常任委員会第1回所管事務調査報告

当委員会が行った令和7年度所管事務調査事項について、会議規則第77条の規定により報告します。

#### 記

##### 1 第1回調査

1) 調査年月日 令和7年 7月23日 (1日間)

2) 調査項目 ①防災ハザードマップの点検について  
②町道の維持管理について  
③町有林の維持管理について  
④国保病院の運営状況について

※ ③及び④については、総務文教常任委員会と合同調査

両常任委員会の協議に基づき③は「総務文教常任委員会」、  
④は「産業厚生常任委員会」が代表して報告するものとする。

3) 調査委員 委員長 高田一弥  
副委員長 松村松雄  
委員 中山俊勝  
委員 山田克哉

## 2 調査結果

### ①防災ハザードマップの点検について

防災ハザードマップについて資料説明を受けた。

防災ハザードマップが改定され、1000年に1度レベルの大雨を想定した内容となった。法改正により、災害リスクのある河川数が増え、河岸侵食や氾濫流などの項目も変更された。また、冊子型のハザードマップとしたことでこれらの情報がより細かく確認できるようになった。

想定災害レベルが上がったことにより、これまで避難場所として指定していた施設が洪水想定エリアに入っているケースも見られるため、地域住民とともに新たな避難場所を協議する必要があると思われる。各町内会の総会などに出向き、説明・協議を行ってはどうか。

災害や避難の情報発信については、来年度から戸別の防災無線やスマートフォンアプリで発信することなので、それに期待する。避難時に支援が必要な人は、保健福祉課でリストや個別避難計画を作成していることなので、いざという時に動けるよう、課を越えた情報共有を行っていただきたい。

### ②町道の維持管理について

町道の維持管理について資料説明を受けた。

鶴NHK線の整備状況を確認したところ、一部が軟岩層のために砂利が活着せず、降雨時に流されてしまうとのことだった。しかし、隣接農地の営農者がいないため、常時の整備は行われていないとのことだった。NHKが施設点検を行う際に、町が応急的な補修を行うそうだが、道路の状況や利用頻度、費用面を考慮すると、この処理方法が最良であると納得した。

町道相生清水線の除雪に関しては、町民から除雪が遅れているとの指摘があったため、状況を確認した。この道路は、共和から清水に抜ける際に道道から町道に切り替わる。昨年度は、どちらの路線も同一の除雪施工業者であったが、道道を優先的に除雪すること、またそれぞれの路線で契約主体が変わるために、別に稼働時間を算出する必要があることから、一括で除雪することはできないとのことだった。町道の除雪が遅れることを看板等で周知することを提案する。

### ③町有林の維持管理について

※ 「総務文教常任委員会」から報告。

#### ④国保病院の運営状況について

※ 上記については合同調査につき、両常任委員会の協議に基づき「産業厚生常任委員会」が両委員会を代表して報告するものとする。

国保病院の運営状況について資料説明を受けた。

資料には、過去10年間の患者数や収支決算、繰入金の推移を数値で示されてていた。佐々木院長は一般会計繰入金を減額する目標を掲げて取り組んでいるが、近年の物価高騰もあり、達成が困難であったことは理解する。

職員体制については、薬剤師の退職や看護師の不足で、今いる職員の負担が大きくなっている。町も協力して引き続き募集を行っていただきたい。また、看護師用のアパートを整備したことで応募が増えたという熊石国保病院の例もあるので、住居の確保も検討すべきである。

長年の懸念だった暑さ対策については、8月からエアコンが導入されるということなので、改善されることを期待する。